

去る2018年9月5日(水)～7日(金)に、関西大学で開催された第70回日本生物工学会大会における国際交流関連行事を中心に今年度の国際交流活動について報告する。

■**生物学アジア若手賞** 本年度は第15回目となり、タイのVerawat Champreda博士(National Center for Genetic Engineering and Biotechnology (BIOTEC))に授与された。受賞対象となった研究題目は、「Exploration of lignocellulose degrading enzymes from hidden bioresource for biorefinery and green industries (バイオレファイナリーおよびグリーン産業への利用を目指した未開発資源からのリグノセルロース分解酵素の開拓)」で、受賞講演は大会2日目の午後に行われた。Champreda博士は学部・修士課程はタイのChulalongkorn大学、Mahidol大学で学び、その後Imperial College Londonにて博士課程に進学、2003年に博士の学位を授与された。その後、BIOTECのEnzyme Technology Laboratoryで研究員(2003–2008年)、主任研究員(2008–2010年)を経て、2010年より現職の室長となった。また、2013年からKing Mongkut's University of Technology Thonburiで客員研究員としても活躍している。この間、リグノセルロース分解における効率化を目指し、前処理、酵素処理、酵素科学など多面的に研究を進め、バイオレファイナリー分野で目覚ましい研究成果をあげている。同氏の今後の研究における益々のご発展を期待したい。



Dr. Verawat Champreda

■**生物学アジア若手研究奨励賞(The DaSilva Award)** 第7回目の本年度はマレーシアのPau-Loke Show博士(The University of Nottingham, Malaysia)に授与された。受賞対象となった研究題目は、「Converting wastewater to bioenergy and bio-products using microalgae technology (微細藻類を用いた排水からのバイオ燃料・バイオ製品生産)」であった。Show博士は博士課程までマレーシアのUniversiti Putraで学び、2012年に博士の学位を授与された。その後さらにThe University of Nottingham Malaysiaに進学し、Postgraduate Certificate in Higher Educationを授与された。その後、同大学でAssistant Professor(2012–2015年)、2016年から現職のAssociate Professorとなった。この間、有用物質生産・分離技術の開発などで優れた研究成果をあげ、また我が国のみならず、中国やイギリスとも活発な研究交流を進めている。同氏の今後の研究における益々のご発展を期待したい。



Dr. Pau-Loke Show

■**韓国生物工学会(Korean Society for Biotechnology and Bioengineering, KSBB)との人物交流** 2018年4月19日～20日にThe Ocean Resort(麗水市)で開催されたKSBB春季大会に、昨年度の学会賞受賞者である高木博史先生(功績賞・奈良先端大)、古賀雄一先生(斎藤賞・阪大)が参加し、講演を行った。第70回日本生物工学会大会では、台風21号のため予定されていた4件のKSBB招待講演はすべてキャンセルとなった。KSBB秋季大会は10月10日～12日にSejong University(ソウル)で開催され、高木昌宏副会長、加藤竜司先生(名大、2017年度照井賞受賞者)が参加した。高木副会長は「Recent Research on Advanced Assays for Biosensors and Biomolecular Engineering」、加藤氏は「Nanobiotechnology & Cell Engineering」と題した国際セッションにおいてそれぞれ研究発表を行った。

■**KSBB-SBJ 交流会議** 第70回大会2日目の9月6日午後、Tae-Joon Jeon教授(Inha University)が出席し、交流会議が開かれた。交流会議では今後のKSBB-SBJ交流方針その他について意見交換が行われた。本会からは、川面副会長、高木昌宏副会長、藤山・高木忍・中野・跡見(国際展開)、高木博史(第6回SBJシンポジウム担当)、貝沼(庶務)の各業務担当理事が出席した。2019年度のKSBB春季大会および同秋季大会への本会会員の派遣、2019年度のSBJシンポジウムおよび第71回日本生物工学会大会へのKSBB会員の招待人数などについて打合せが行われた。

■**その他** 今大会では初日の懇親会において木野会長の挨拶に続いて、KSBBを代表して



Prof. Tae-Joon Jeon

Tae-Joon Jeon教授によるご挨拶があった。大会2日目の夕刻には、会場近くの飲食店で歓迎会が開催され、両学会の親睦を深めることができた。



前列向かって左から、高木昌副会長、Prof.Tae-Joon Jeon、川面副会長
後列向かって左から、跡見、中野、高木博、貝沼、高木忍、藤山